

# Emacs 簡易マニュアル

## 0. マニュアルの表記法と基本的な注意

キーの名称 + キーの名称 は、左側に指示されたキーをはじめに押し、そのキーを離さずに + の後に指示されたキーを押すことを示す。キーの名称 + キーの名称, キーの名称 または キーの名称 + キーの名称, キーの名称 + キーの名称 は、はじめにコンマの左に指示されたキー操作を実行し、一度そのキーを離しその後にコンマの右に指示されたキー操作を行なうことを示す。

以下に示す様々なコマンドを入力途中で中止したくなった場合は、どのようなキー操作の途中であっても、Ctrl + g と入力すればよい。Emacs を終了するには、Ctrl + x, Ctrl + c と入力する。

## 1. 文字入力

カーソル移動は矢印キーで行なう。文字消去は BackSpace キーまたは Del キーのどちらかを、端末 (TeraTerm で実現する仮想端末) の設定に応じて用いる。つまり、文字入力に関しては、Windows 上の一般的なエディター (秀丸, TeraPad 等) と同様に行なう。

## 2. 画面操作

Ctrl + x, 2	編集画面を上下 2 分割する。
Ctrl + x, o	2 分割された画面のうち、現在カーソルのある画面から、別の画面へ移動する。キー操作を繰り返す度、別画面への移動を繰り返す。
Ctrl + x, 1	現在 2 分割されている画面を、1 画面に戻す。

## 3. 編集

カットまたはコピーは、まずカットまたはコピーを実行したい文字列の先頭を記憶させ、カーソルを文字列の最後に移動し、その場所でそれぞれに応じたキー操作を行なうことで実行する。文字列先頭の記憶操作をマーク位置のセットと呼ぶ。

Ctrl + Space	現在カーソルのある位置にマーク位置をセットする。
Alt + w	直前にセットされたマーク位置から、現在のカーソルによって囲まれる文字列をコピーする。
Ctrl + w	直前にセットされたマーク位置から、現在のカーソルによって囲まれる文字列をカットする。
Ctrl + y	コピーまたはカットによって記憶されている文字列を、現在のカーソル位置の右側に挿入する。

## 4. ファイル操作

Ctrl + x, Ctrl + f	ファイルを開く . コマンドを入力するとミニ・バッファ (最下段の 1 行) に Find file:~/ 等と表示され、ファイル名の入力待ちとなる。表示されているパスが、目的のファイルの保存されたディレクトリーと異なる場合は、正しいパスも含めて入力する。
Ctrl + x, Ctrl + w	ファイルに名前をつけ保存する . コマンドを入力するとミニ・バッファ (最下段の 1 行) に Write file:~/ 等と表示され、ファイル名の入力待ちとなる。表示されているパスが、ファイルを保存したいディレクトリーと異なる場合は、正しいパスも含めて入力する。
Ctrl + x, Ctrl + s	編集中のファイルを上書き保存する。

## 5. バッファの切り替え

複数のファイルを続けて開いた場合、以前に開いたファイルは画面上には表示されていないが、バッファ (記憶領域) に開かれたままとなっている。したがって、以前開いたファイルを再び画面上に呼び出す場合、ファイルを開く操作を行なう必要はなく、バッファを切り替える操作を実行すればよい。

Ctrl + x, b	バッファを切り替える . コマンドを入力するとミニ・バッファ (最下段の 1 行) に Switch to buffer: (default ファイル名) と表示され、ファイル名の入力待ちとなる。default で示されたファイルが目的のファイルなら、そのまま Enter キーを入力し、異なる場合は (default ファイル名) の後に目的のファイル名を入力する。
-------------	---

## 6. その他のコマンド

Emacs を立ち上げたままで、gcc 等のコマンド入力が可能である。まず、Alt + x とキー入力するとミニ・バッファに M-x と表示されるので、続けて以下の操作を行なう。

コンパイル: compile と入力する。ミニ・バッファに Compile command: make -k と表示されるので、make -k を消去し、gcc -c ソースファイル名 と入力する。

メイク: compile と入力する。ミニ・バッファに Compile command: make -k と表示されるので、make -k を消去し、gcc -o 実行型ファイル名 と入力し、続けてリンクしたいオブジェクト・ファイル名をスペースで区切って入力する。

行番号を指定してカーソル移動: goto-line と入力する。ミニ・バッファに Goto line: と表示されるので、続けて行番号を入力する。